

2014 年度

環境活動レポート

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日)



発行日 : 2015 年 5 月 1 日

有限会社 ハート・アンド・ハート

〒975-0012 福島県南相馬市原町区南町 3 丁目 140 番地 1

TEL 0244-25-7115 FAX 0244-25-7116

<http://www.sonpo.ne.jp/agent/heartandheart/>

e-mail heartand@oregano.ocn.ne.jp

1. 環 境 方 針

<環境理念>

私たちは自然環境の維持および改善のためにエネルギーの削減、CO₂の削減等に取り組みます。

全役職員一丸となって継続的推進に努めます。

<活動方針>

- (1) 電力使用量を削減して、CO₂の排出削減に努めます。
- (2) 化石燃料の使用量を削減して、CO₂の排出削減に努めます。
- (3) 紙類・インクの節約およびリサイクルの徹底による省資源を図ります。
- (4) グリーン購入（事務用品）を推進します。
- (5) 顧客に対して環境保護に繋がる個人商品のWeb 約款選択を薦めます。
- (6) 水道使用量を削減します。
- (7) リサイクル・再利用により廃棄物の排出量を削減します。
- (8) この環境方針は教育や日常活動を通じて全従業員に周知徹底します。
- (9) 環境関連法規等を遵守します。

平成 22 年 4 月 1 日

有限会社 ハート・アンド・ハート

代表取締役 山 本 恵 一

2. 組織の概要

2 - 1. 事業署名及び代表者名

- 有限会社 ハート・アンド・ハート ■ 代表取締役 山本 恵一

2 - 2. 事業の概要

- 生命保険及び損害保険の代理業全般

2 - 3. 所在地と連絡先

- 住 所 : 〒975-0012 福島県南相馬市原町区南町 3 丁目 140 番地 1
(連絡先:TEL 0244-25-7115 FAX 0244-25-7116 E-mail heartand@oregano.ocn.ne.jp)
- 担当者 : 環境管理責任者 志賀 司

2 - 4. 事業の規模

- 創 業 : 平成 11 年 6 月 ■ 資本金 : 300 万
- 売上高と従業員

事業年度	2012 年度 (2012. 4～2013. 3)	2013 年度 (2013. 4～2014. 3)	2014 年度 (2014. 4～2015. 3)
売上金額 (千円)	30,860	39,812	51,263
従業員数 (人)	8	8	11

(注) 売上金額は、当社会計年度 (当年 4 月～翌年 3 月まで) による。

3. 対象範囲と対象取組期間

3 - 1. 認証・登録範囲

- 生命保険・損害保険代理店業

3 - 2. 環境活動レポートの対象取組期間

- 2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

4. 環境目標

4 - 1. 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の 5 項目について環境目標を設定しました。

- 1) 二酸化炭素排出量
- 2) 廃棄物排出量
- 3) 総排水量
- 4) グリーン購入 (事務用品)
- 5) 個人商品 (自動車保険、火災保険) の Web 約款選択

4 - 2. 主な環境負荷の実績

2013 年度（H25.4～H26.3）当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量（kg-CO2）			廃棄物排出量（kg） （一般廃棄物）	総排出量（m³） （水使用量）
電力（kWh）	灯油（ℓ）	ガソリン（ℓ）		
8,920	0	8,567	67.3	53.0
23,727.20(kg-CO2)				

4 - 3. 環境目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物産出量、総排水量の必須3項目について、単年度目標ならびに中長期目標を下記の通り設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2014 年度（H26.4～H27.3）	2013～2015 年度（3 年間）
■ 二酸化炭素排出量	2013 年度同期比 1%削減	前年度比 3%削減
■ 廃棄物産出量	2013 年度同期比 2%削減	前年度比 6%削減
■ 総排水量（水使用量）	2013 年度同期比 1%削減	前年度比 3%削減

4 - 4. 2013 年度（取組対象期間）環境目標値

4 - 2. の考えに従って、2013 年度実績値を基に、2014 年度（H26.4～H27.3）の具体的目標値は下記の通り算出しました。

	2013 年度実績 （H25.4～H26.3）	2014 年度目標 （H26.4～H27.3）
■ 二酸化炭素排出量（kg-CO2）	23,724.20	23,460
1) 電力	（ 3,826.70 ）	（ 3,780 ）
2) 灯油・LPG	（ 0.0 ）	（ 0 ）
3) ガソリン	（ 19,890.50 ）	（ 19,680 ）
■ 廃棄物産出量（一般廃棄物:kg）	67.3	65.0
■ 総排水量（水使用量:m ³ ）	53.0	52.0
■ グリーン購入比率（事務用品）	81.0%	85%
■ Web 約款	1,214 件	1,250 件

5. 主な環境活動計画

5 - 1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 消費電力の削減

- 室内温度は出来る限り、暖房期23℃、冷房期26℃で管理する。
- 定期的にエアコンのフィルターを清掃する。
- 事務所内に節電ポスターを貼り、消灯確認ランプ指差し確認の徹底。
- 使用していないエリアの照明はまめに消す。
- LED照明器具の購入。

2) エコ運転の実施

- エコ運転の教育研修
- アイドリング時のエンジン停止の励行。
- 将来的に新規購入車両はハイブリッド車を推奨。



5 - 2. 廃棄物排出量の削減

1) 廃棄物分別の徹底

- ゴミの分別処理を徹底する。
- 廃棄物置き場の整理

2) 紙使用の削減

- コピー数量の削減
- OA紙の表裏利用（但し個人情報書類はシュレッダー処理）・縮小コピーなど。
- 不要資料は（保険）会社に返却する。



5 - 3. 総排水量の削減

- トイレの流水量の調整
- 手洗い時の節水（節水ポスターの貼付掲示）

5 - 4. 事務用品のグリーン購入推進

5 - 5. 自主的な環境保全活動

- 個人保険種目（自動車保険、火災保険）のWeb約款選択の薦め。
- 事務所敷地内花壇の整理（春、秋）

6. 環境目標の実績（H26.4～H27.3）

対象取組期間における環境目標の達成状況は下記に示す通りです。

6 - 1. 二酸化炭素排出量

1) 全体（目標：1%削減）

2013 年度実績	2014 年度目標	2014 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
23,727 (kg-co2)	23,460 (kg-co2)	21,761 (kg-co2)	△1,966 (kg-co2)	△8.3%	◎

【コメント】二酸化炭素排出量全体で、去年同期比 8.3%減と目標を上回った。

以下、下記の通り排出要因別に達成状況を記載する。

2) 電力使用（目標：1%削減 使用量実績 8,920kWh → 5,476kWhへ）

2013 年度実績	2014 年度目標	2014 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
3,827 (kg-co2)	3,780 (kg-co2)	2,349 (kg-co2)	△1,478 (kg-co2)	△38.6%	◎

【コメント】主な要因は新事務所移転に伴い電力使用が約 4 割弱減少したことが大きい。理由として不使用の部屋の電灯消灯励行、室内の冷暖房温度調整等細かい管理が考えられる。

3) 灯油・LPG使用（目標：1%削減 使用量実績 0.00ℓ → 0.00ℓへ）

2013 年度実績	2014 年度目標	2014 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
0 (kg-co2)	0 (kg-co2)	0 (kg-co2)	0 (kg-co2)	-	△

【コメント】昨年に引き続き灯油使用をゼロに抑えられた。

4) ガソリン・軽油使用（目標：1%削減 使用量実績 8,567ℓ → 8,361ℓへ）

2013 年度実績	2014 年度目標	2014 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
19,891 (kg-co2)	19,890 (kg-co2)	19,411 (kg-co2)	△480 (kg-co2)	△2.4%	◎

【コメント】社員毎にガソリン使用量の増減があった。目標を達成出来た要因は年度初めに社有車 1 台をハイブリッド車に変更した為、ガソリン使用量が大幅に減少したことが大きい。

6 - 2. 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物（目標：2%削減）

	段ボール類、シュレッダー ゴミ（資源ゴミ）	新聞紙類（資源ゴミ）	その他の可燃ゴミ
2013 年度実績	78.3 kg	301.0 kg	67.3 kg
2014 年度実績	75.1 kg	298.0 kg	66.9 kg
削減量	△3.2 kg	△3.0 kg	△0.4 kg
削減率	△4.1%	△1.0%	△0.6%
評価	◎	○	○

【コメント】事務所内で出る廃棄物で段ボール、新聞紙、見積書等書類（シュレッダー処理）は資源ゴミとして供出した。その他の可燃ゴミは前年に較べて若干削減出来

たが、目標は達成出来なかった。

6 - 3. 総排水量・水使用量（目標：1%削減）

2013 年度実績	2014 年度目標	2014 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
53 m ³	52 m ³	57 m ³	+4 m ³	▲7.5 %	×

【コメント】総排水量は地下水を使用していないので、水道の使用量と等しくなります。目標は達成出来なかった。要因としては新事務所移転以来、毎週月曜日に窓ガラス清掃の為の水使用を始めたこと、及び花壇への定期的な水遣りにより水使用量が増加したことが考えられる。

6 - 4. グリーン購入比率（目標：事務用品 85%以上）

2013 年度実績	2014 年度目標	2014 年度実績	—	増加率	評価※2
81 %	85 %	88 %	—	+8.6 %	◎

【コメント】毎年 80%を目標にしているが、今後も再生品供給先を優先して探したい。

6 - 5. Web 約款（目標：1,200 件以上）

2013 年度実績	2014 年度目標	2014 年度実績	—	増加率	評価※2
1,214 件	1,250 件	1,294 件	—	6.5%	◎

【コメント】本業の代理店手数料利用ポイントに影響する項目のため社員全員で取り組んだ結果、目標達成した。ポイントも取得した。引き続き目標に向かって取り組む。

※1 削減量・削減率の欄において、▲印はマイナス（増加）を示す。

※2 評価：◎→目標達成できた、○→改善したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より悪化。

※3 二酸化炭素産出量の計算については、東北電力(株)の CO2 排出係数 0.429(Kg-CO2/kwh、2011 年度)を使用しています。

7. 環境活動計画の取組結果の評価

ならびに次年度の取組内容

7 - 1. 環境活動計画の取組結果の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） —…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減	■ 室内温度は出来る限り、暖房期23℃、冷房期26℃で	△
		■ 定期的にエアコンのフィルターを清掃する。	△
		■ 使用していないエリアの照明は消す。	○
		■ LED照明器具の購入。	○
		■ 事務所内の要所に節電ポスターをを貼り、意識の徹底を図る。	○
	ガソリン使用量の削減	■ エコ運転の教育研修	△
		■ アイドリング時のエンジン停止の徹底	△
		■ 新規購入車両はハイブリッド車を推奨（将来）	○
廃棄物産出量の削減	■ ゴミの分別処理を徹底する。（出来る限り分別ゴミは持ち込まない。）		○
	■ 廃棄物置き場の整理		○
	■ コピー数量の削減		△
	■ OA紙の表裏利用（但し個人情報書類はシュレッダー処理）・縮小コピーなど。		○
	■ 不要資料は（保険）会社に返却する。		○
排水量(水使用量)の削減	■ トイレの流水量の調整		—
	■ 手洗い時の節水（節水ポスターの貼付掲示）		○
G購入	■ 物品購入の際はエコマーク等環境ラベル添付のものを購入する。		○
自主目標	■ 事務所駐車場への花壇の導入充実		○

7 - 2. 本年度以降の短期および中長期目標（3年間）

二酸化炭素排出量、廃棄物産出量、総排水量の必須3項目について、次期単年度目標ならびに中長期目標を下記の通り設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2014年度（H26.4～H27.3）	2013～2015年度（3年間）
■二酸化炭素排出量	2013年度同期比1%削減	前年度同期比3%削減
■廃棄物産出量	2013年度同期比2%削減	前年度同期比6%削減
■総排水量（水使用量）	2013年度同期比1%削減	前5年度同期比3%削減

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び

評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2015年3月31日付けにおいて、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状況は認められませんでした。また、関連当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去4年間ありません。

主な環境関連法規制 廃棄物処理法
 家電リサイクル法
 自動車リサイクル法
 小型家電リサイクル法（平成25年4月より施行）

9. 代表者による全体の評価と見直しの結果

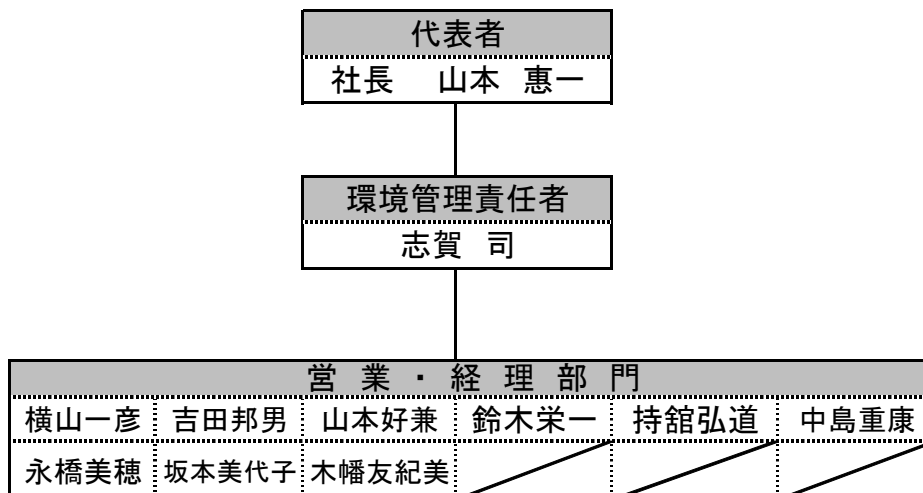
平成27年5月1日（金）に代表者と環境管理責任者との間で会議を行ない、①環境目標の達成状況、②環境活動計画の実施及び運用結果、③環境関連法規の遵守状況、④外部からの環境に関する苦情や要望等を報告した。

その結果、環境方針、環境目標、環境活動計画及び環境経営計画システム等の変更が必要ないと判断された。代表者より次のコメントがされた。

「今後も事務所内の冷暖房の温度設定に気を使いつつ節電・節水ポスター等の貼り出し等より、社員全員の意識を高める努力をすること。」「冬の室内温度の設定に注意すること。」「エコ運転の徹底は今後も図ること。」「節水は従来どおり取り組むこと。」「今後も再生品等の利用を通じてグリーン購入比率を高めること。」「Web約款は今後も取り組むが次年度はeco保険証券（完全ペーパーレス化）への切替も推進すること。」

有限会社 ハート・＆・ハート 環境経営システム組織図

制定日： 2014年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境事務局 環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
	・自他部門における環境経営システムの実施 ・自他部門における環境方針の周知 ・自他部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自他部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自他部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管 ・自他部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



至原町駅

駅前通



東邦銀行



小林眼科



資成堂

平成通り



スキ自販原



原町教会



商工会議所



橋本町墓地



沖田歯科

原町一中



旧
国
道

南町郵便局



ハート・&・ハート



東北電力アパート



ローソン南町店



石原クリニック



愛月記

